

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
<u>「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施</u>	竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	4,000千円	竹野地域公共交通利用促進委員会	●	●	
<u>トライやる・ウィーク交通費支援</u>	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	420千円	豊岡市	●		
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市 (一社)たけの観光協会	●		
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	300千円	豊岡市	●		
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市	●		
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会		●	
<u>養父市関宮小さな拠点づくり 共創プラットフォーム事業</u>	市が進める「関宮小さな拠点」を、地域の移動手段と路線バスとの結節点として運用することを想定し、旧関宮地域の交通体系を検討する中で、デマンド交通実証実験を実施	19,244千円 (予算総額) 4,715千円 (養父市負担分)	養父市 交通事業者等	●		
<u>自動運転バス実証実験</u>	自動運転バスの導入により新たな交通体系の在り方を検討	96,050千円 (当初予算) ※国補助の 採択状況による	養父市 BOLDLY(株) 全但バス(株) やぶ市観光協会	●		

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
デマンド型乗合交通の活用 （播但線再掲）	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,605千円	朝来市	●	●	●
情報発信（播但線再掲）	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信の実施	—	朝来市	●		●
利用促進（播但線再掲）	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進の実施(市職員による利用促進の取組など)	—	朝来市	●	●	●
【拡】JR和田山駅周辺整備事業 （播但線再掲）	JR和田山駅周辺の利便性向上を図るため、令和7年度は、南北自由通路の基本設計、駅南ロータリーの整備等を予定	91,000千円	朝来市	●		●
鉄道利用促進助成事業	香美町在住者が町内5駅を発着として2名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町	●		
特急はまかぜ利用助成金事業	町民が特急はまかぜを利用(町内にある4つの駅から大阪駅までの運行区間内)した場合に利用に係る乗車券や特急券の購入費用を助成	1,050千円	新温泉町	●		
鉄道往復利用支援事業	町民が浜坂駅を発着駅として、豊岡(城崎温泉)駅または鳥取駅を往復利用する場合に片道分の乗車券及び鉄道ノベルティを配布	209千円	新温泉町	●		

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
特急はまかぜ「ちょい乗り」事業	町民が浜坂駅発の特急はまかぜを利用する場合に片道分の特急券及び鉄道ノベルティを配布	129千円	新温泉町	●		
町民ふれあいの旅	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅を実施	388千円	新温泉町			●
職員公共交通利用出張	職員の効率的出張を図るため、公用車の乗り合わせ出張をする一方、神戸等への職員一人の出張については特急はまかぜを利用して出張することにより、鉄道の利用促進を図る。	875千円	新温泉町	●		
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	駅周辺の賑わいを生み出す取組を行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助(補助率1/2、上限200千円)	200千円×2	兵庫県 (市町協調)	●	●	●
車両基地見学会	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
JRハイキング造成モデル事業	山陰本線(竹野～居組間に限る)の駅を起終点とし、山陰本線利用者を対象にしたガイド付きハイキングツアー造成を支援し、同線の魅力向上及び利用拡大を図る。	750千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実 【期間】4月13日～11月30日		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会		●	

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】但馬地域における公共交通の 利便増進に向けた人材育成事業	各ステークホルダーや既存ネットワークで顕在化している課題の共有と解決に向けた方策、 「持続可能な公共交通体系」の方向性を整理し、 広域連携を主導できる人財を育成する。 また、乗継の利便性向上、運賃収受方法の統一化、共通運賃制度等を念頭に置いた連携の可能性を検討する。 （「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「モビリティ人材育成事業」（国庫10/10）を活用）	14,769千円 （国庫補助金交付決定額による）	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
【新】「乗って守ろう！山陰本線 『浜坂・香住・竹野駅ペイ』」の実施	新温泉町浜坂地域、香美町香住地域及び豊岡市竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	1,767千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を体感してもらう。 【期間】11月～1月(予定)	1,163千円	兵庫県		●	
1日乗車券500円観光バス 「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保 ガイド無料や観光施設入館無料など、立ち寄り先での特別体験を企画	15,180千円	但馬観光協議会		●	
但馬観光の将来を見据えた 地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観光客を送客する2次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県		●	

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
<u>WESTERへの情報集約</u>	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体		●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本		●	
<u>かに力二はまかぜの運行(予定)</u>	冬季に臨時特急「かに力二はまかぜ」を運行	—	JR西日本		●	
<u>【新】利用促進リーフレットの作成(予定)</u>	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に山陰線(城崎温泉～浜坂)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	—	JR西日本		●	
<u>【新】ご利用実態調査(予定)</u>	乗車・降車駅、目的、利用頻度、2次交通等についてのアンケート調査を実施	—	JR西日本		●	
沿線行事のP R	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	
<u>【新】週末開催！西日本じまん市</u>	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信	—	JR西日本、沿線自治体		●	